



入校した動機

命を救う職につきたいという気持ちから医師を目指していました。その中でも防衛医大を選んだ理由としては、他の国立大学に落ちたのもありますが、経済的に安定している点、厳しい規律の中で生活を崩さない点、人間関係の構築がやりやすそうな点、将来、研究の道に進んだときに身分が安定している点を考慮して選びました。

近況は？

最初は防衛医大生としての色々なことを教わる期間があり、とても厳しく大変でしたが、上手な時間の使い方を含め様々なことを学ぶことができました。学業ではかなり早くから医学的なことに触れることができ、また訓練では部外の基地に研修に行ったり、模擬銃を扱ったり他の人にはできない経験をしました。休日では同期とご飯に行ったり遊んだり部活に励んだり普通の大学生らしいこともしています。



入校して 感じたことは？

とても厳しいイメージがあり、実際そういうところもありますが意外と空き時間では自由に仲良く生活しており、少しイメージが違っているところもありました。また同期間では仲の良い人もすぐできやすく先輩達とも関わりも多く、とても人間関係に恵まれた点は良かったです。バイトをせず給料をもらえるというのは責任も大きく伴いますが、日々の日課に集中できるので非常に良いです。

竹内 太政
今治西高校
R4年度卒業

母校の後輩達へ

入試の難しさなどを考えると防衛医大の医学科が現実的な進路として考えられる人はほとんどいないかもしれません。ですが、そういう人にとって他の大学生には学べないことも学べ、ある部分では厳しいですがある部分では他の大学より楽でまた将来、他の人特に被災地などの特に困った人の力になれる医官となる防衛医大は非常に優れた選択肢だと思います。